




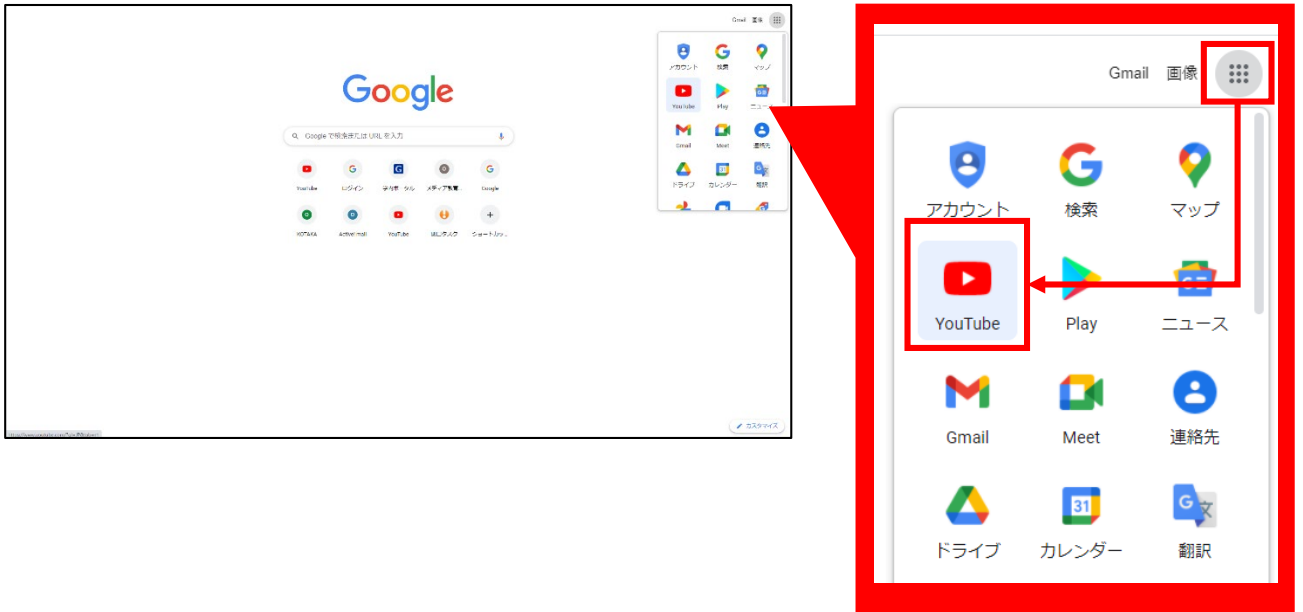
アカウントの確認手順


- ・ 15分以上の動画のアップロード
- ・ ライブ配信

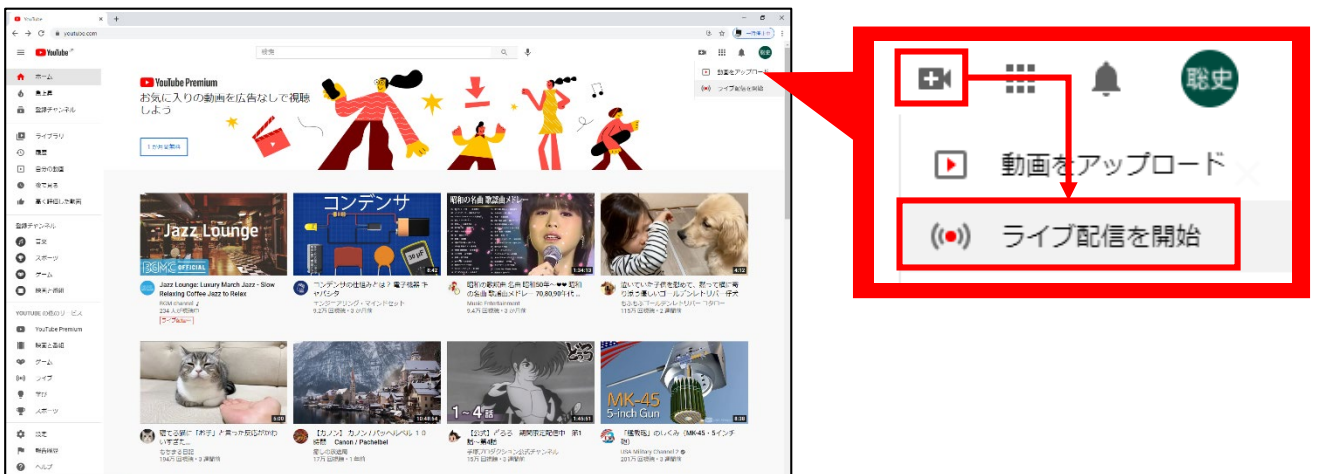
を行うためには、「アカウントの確認」を行う必要があります。

本手順を完了後、**24時間経過**しないとイケないので、早めの対応をお勧めします。

1. Googleホーム画面より、右上の  マーク⇒「YouTube」を順に選択します。



2. YouTubeページにて
右上にある  マーク⇒「ライブ配信を開始」を順に選択します。

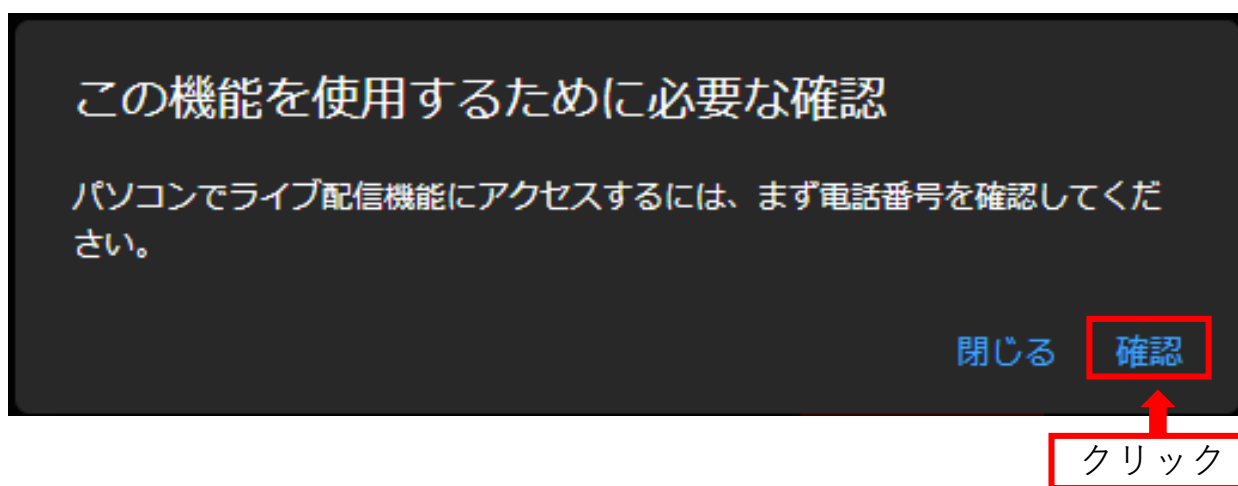


3. YouTube Studio画面にて

下図のような画面が表示されたら、中央の「有効にする」を選択します。



4. 「この機能を使用するために必要な確認」と表示されたら、「確認」を選択。



5. アカウントの確認 (ステップ1/2)

YouTubeに電話番号を送り、送られてきた確認コードを入力します。
確認コードの受け取り方法については、

- 電話の自動音声メッセージ
- SMSで受け取る

のどちらかを選んでください

スマートフォンをお持ちであれば、「SMSで受け取る」方法が、
よろしいと思います。

The image shows a screenshot of the YouTube account verification process. The screen is titled "電話による確認 (ステップ 1/2)" (Verification by phone (Step 1/2)). It explains that providing a phone number allows for additional features and that the user is confirmed to be a real human creator. It then asks the user to specify how they want to receive the verification code. There are three numbered callouts: 1. Points to the "SMSで受け取る" (Receive via SMS) option, which is selected with a blue radio button. A text box explains that the user should choose one method and check it. 2. Points to the "国を選択してください" (Select your country) dropdown menu, which is set to "日本" (Japan). A text box explains that the user should enter their phone number. 3. Points to the "コードを取得" (Get code) button. A text box explains that the user should select "Get code".

YouTube

電話による確認 (ステップ 1/2)

電話番号を確認すると、YouTube で追加機能を利用できるようになります。また YouTube 側も、お客様が実在の YouTube クリエイターであり、ロボットではないことを確認できます。 [詳細](#)

確認コードの受け取り方法を指定してください。

1 SMS で受け取る
 電話の自動音声メッセージで受け取る

確認コードの受取方法についてどちらか
選び、チェックを入れます。

国を選択してください

2 日本

電話番号
123456789

電話番号を入力します。

3 コードを取得

「コードを取得」を選択

6.アカウントの確認（ステップ2/2）

確認コードを入力⇒「送信」し、「YouTubeアカウントが確認されました」と表示されれば、手順は完了です。

電話による確認（ステップ 2/2）

確認コードを記載したテキストメッセージを [] に送信しました。お知らせした 6桁の確認コードを下記に入力してください。

テキストメッセージが届かない場合は、前に戻って [電話の自動音声メッセージで受け取る] を選択してください。

6桁の確認コードを入力してください

123456

戻る 送信

確認コードを入力し、「送信」を選択

YouTube

✓ 電話番号を確認しました
電話番号の確認が完了しました。

7.24時間待つ

手順完了後、24時間後にライブ配信や動画アップロードができるようになります。

